

患者のみなさんと病院をつなぐ

かけはし

病院が新築移転して1年たちました



病院長 櫻井 俊弘

芦屋中央病院は昨年3月の新築移転から1年が経過しました。新築の建物にありがちな不具合はごく軽微なもののみで、問題になるものはありませんでした。利用していただく患者さんやご家族からは病院の雰囲気が明るくなったとのご意見をいただいています。病棟の4人部屋は個室型多床室とし、どのベッドにも窓を設置しましたが、外の風景を見ることができると好評です。昨年12月に行ったアンケート調査では病院の評価は約6割の方が10点満点で7点以上を付けていただいています。

患者さんの利用状況は近隣の住民の方々の利用が増えております。外来を受診していただいた患者さんの数は昨年と比べ約12%増えております。さらに、病床機能の見直しにより、入院収入は約3割の増収となっております。

医師や看護部をはじめ、薬剤部、放射線科、検査科、栄養科、リハビリ、事務部門まで職員が力を合わせて診療に取り組んでおりますが、特にスポーツ外傷・障害専門外来は好評価をいただいています。地域の小学生から大学生までの学生さんを中心に多くの方が受診されており、専門の理学療法士によるリハビリも行っています。スポーツリハビリは学生さんが受診しやすいよう夕方まで受付をしています。小学生や中学生は野球による障害が多いため、障害予防のための投球フォームの矯正などにも取り組んでおります。

町立病院の頃から、住民の方に信頼される病院を目指してきましたが、地域の方々の期待に沿えるよう職員一同努力をしております。今後ともよろしくお願いいたします。



病院開設の理念

1. 地域住民に信頼される病院
2. 地域医療機関に信頼される病院
3. 職員に信頼される病院



地域の医療・介護施設との 合同研修会を開催しました。

合同研修会では当院医師、松下と中俣の2人が講義を行いました。

糖尿病内科 松下 幸司

合同研修会において『2型糖尿病治療 update』という題目でお話しました。日本における2型糖尿病患者数は現在、増加の一途を辿っている一方で、2型糖尿病に対する治療はニーズに応えた有効な薬剤が次々と上市され、治療の選択肢は広がっています。今回は特にGLP-1受容体作動薬とSGLT2阻害剤を中心にお話しました。いずれも高血糖状態を改善する作用以外に、体重減少(肥満是正)の効果も期待できる薬剤です。さらにいずれの薬剤も大規模臨床試験で心血管イベントを抑制する効果が示され、糖尿病による合併症の発症を抑制する可能性が注目されています。しかしGLP-1受容体作動薬は稀に嘔気や食思不振にて中止せざるを得ない症例があり、SGLT2阻害剤は75歳以上の高齢者や痩せている患者さんには不向きな場合が多く、年齢や病態をよく考慮した上で用いることが肝要です。



腎臓内科 中俣 潤一

慢性腎臓病(CKD)は1300万人余の国民が罹患している国民病であり、その進行により透析療法が必要となるなど、患者への負担が大きくなります。CKDの原因は多岐にわたり、糖尿病、高血圧等の生活習慣病や慢性糸球体腎炎等が多くを占めています。そのためCKDに対してはそれら原疾患に対する治療や生活習慣、CKD進展に対する治療、合併症管理が必要となります。

また糖尿病による腎障害について、糖尿病治療の進歩や年齢、高血圧、脂質異常症等の関与により、典型的な進行経過をとらない症例が増加しており、これらを総じて糖尿病性腎臓病とする考え方が最近提唱されています。



ISO9001について

当院は昨年1月にISO9001を認証取得しました。世界標準であるこの規格では患者さんやご家族、その他利用される皆様の信頼を高めることを目的とした仕組みづくりと、その仕組みを機能させ続けることが求められます。

昨年10月には、審査機関による継続審査及び緩和ケア病棟導入に対する特別審査が行われ、認証取得の継続が決定しました。

今後もISO9001を活用し、職員一丸となり、より信頼される病院を目指します。



芦屋中央病院公開講座骨粗鬆症の予防と治療

整形外科統括部長 河野 公昭



平成31年1月26日、芦屋中央病院会議室にて公開市民講座を開催し、それぞれの専門分野の職員から、「骨粗鬆症の予防と治療」「骨粗鬆症」「骨密度検査」「血液検査」「薬物療法」「食事療法」「運動療法」についてお話させていただきました。今回は予約制の定員50人とさせていただきましたが、2週間前に一杯になる大盛況ぶりで、講座後にはありがたくも好評のお声を沢山いただきました。骨折を予防し、皆様の健康寿命を延ばして頂きたく、今後も活動が続けていきたいと思います。



院外調剤薬局開設1年を迎えて

平成30年3月に新築移転した芦屋中央病院では、薬の処方については、院外処方にすることを決定し、院外薬局の誘致場所は患者さんの利便性の観点から病院建物に近いところを模索してきました。しかし、薬局開設にあたっては、不特定多数の人が利用する公道に面していることが要件にあり、薬局開設許可の管轄官庁である九州厚生局から、病院下の県道から病院まで上がってくる道路は、不特定多数の人が利用する公道とは認められないとの見解が示され、やむを得ず、病院の下での開設となっています。

新病院と同時に薬局が開設して一年が経過しますが、その現況は今でも変わっておらず、病院建物近くでの薬局開設は実現できない状況が続いています。

病院としても薬局開設当初から、病院と薬局との合同ミーティングを頻回に行い、患者さんの利用状況や薬局のサービス状況等の情報を共有しながら薬局との連携を深めてまいりました。その結果、薬局は、コンシェルジュの配置や処方せんアプリの導入、クイックサービス、多目的ホールの待合室解放などの改善を行ってきました。

今後も病院として、利用者皆様の利便性向上につながる提案を積極的に行っていきます。

地方独立行政法人 芦屋中央病院外来診療担当表

平成31年3月1日現在

診療科	時間	月	火	水	木	金	土
消化器内科	午前	櫻井	宇野	高田	三雲	高木	(交代で診療)
	午後	高田	炎症性腸疾患 櫻井(予約制)		三雲		
肝臓内科	午前		日浦				
内科	午前			呼吸器 第1週 矢寺 第2・3・4・5週 野口		膠原病 宮田	
		高木	占部	日浦	占部	櫻井	
			循環器内科 鍋嶋	循環器内科 荒木	循環器内科 大江	循環器内科 村岡	
		糖尿病 松下		糖尿病 松下		糖尿病 松下	糖尿病 成澤
	午後	日浦	松下	占部	高木	占部(三雲)	
			循環器内科(再診) 鍋嶋	循環器内科(再診) 荒木	循環器内科(再診) 大江	循環器内科(再診) 村岡	
		糖尿病 松下		呼吸器 近石	神経内科 先成		
泌尿器科	午前	井上	井上	井上	井上	井上	井上 (第2・4週休診)
	午後	井上 (女性専用診療)	井上				
整形外科	午前	河野	舩本	河野	河野	舩本	産医大医師
	午後	舩本	産医大医師 佐羽内(第1・3・5週) 弓指(第2・4週)	産医大医師 村田(第1・3・5週) 小杉(第2・4週)	舩本	産医大医師 山田(第1・3・5週) 藤谷(第2・4週)	
スポーツ外傷・障害専門外来		16:00～ 迫田	16:00～ 迫田	16:00～ 迫田	16:00～ 迫田		迫田
外科	午前	水田(新患) 井下(再診)	永渕	水田	水田(新患) 井下(再診)	永渕	(交代で診療)
	午後	永渕			水田(新患) 井下(再診)		
眼科	午前			平田			松下
皮膚科 形成外科	午前			石井(第2・4週)			
	午後				石井 (第1・3・5週)		
腎外来	午前	中俣(再診のみ)	中俣(新患)	中俣(再診のみ)	中俣(新患)	中俣(再診のみ)	

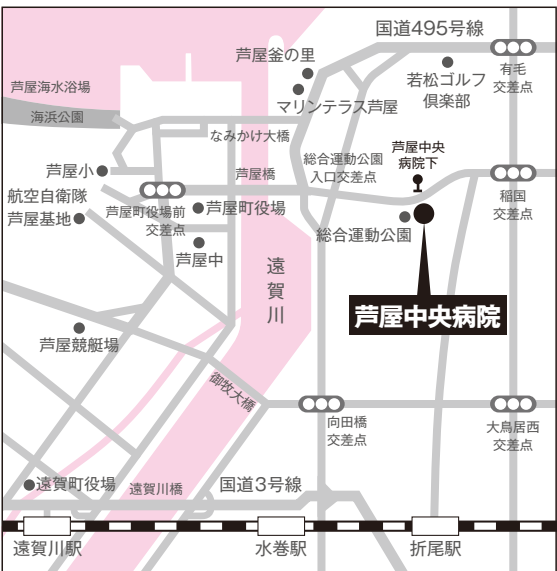
※午後は手術のため休診になることがありますので、ご来院まえにお問い合わせください。
※4月以降の診療日程については変わる可能性がありますので、ご確認の上ご来院ください。

受付時間	午前 [月曜～金曜] 8:00～11:30 [土曜] 8:00～11:00
	午後 [月曜～金曜] 12:30～16:00 (リハビリは18:00まで)
スポーツ外傷・ 障害専門外来 受付時間	[月曜～木曜] 16:00～17:00 [土曜] 9:00～11:00

地方独立行政法人

芦屋中央病院

〒807-0141 福岡県遠賀郡芦屋町大字山鹿283番地7
TEL 093-222-2931(代)
FAX 093-222-2176(代)
FAX 093-223-0301(地域連携室)
e-mail hospital@ashiya-hp.jp
URL: http://www.ashiya-central-hospital.jp



・JR遠賀川駅から芦屋タウンバス「芦屋中央病院玄関前」行
きにて「芦屋中央病院玄関前」バス停下車
・JR折尾駅から北九州市営バスにて「芦屋(第二栗屋)」または
「芦屋(鶴松団地)」行きにて「芦屋中央病院下」バス停下車